

2016 年度支援報告

1. 定期支援

2016 年度も、支援期間に応じて金額を分けて送金しました。

↓ サーバシ・チャム小学校での支援金受領風景



↓ ンジャウ・マリック小学校の子どもたち



(1) 2013 年度以前からの支援校・グループ（支援開始後 3 年以上経過）

サルム・ジャネ小学校	40,000 円
サーバシ・チャム小学校	40,000 円
ンジャゴ小学校	40,000 円
クール・マジャベル小学校	40,000 円
ンジャウ・マリック小学校	40,000 円
障がい児を支援する教師の会	40,000 円
サルム・ジャネ中学校	80,000 円
サーバシ・チャムアラブ学校	20,000 円

(2) 2014 年度以降からの支援校（支援開始後、3 年未満）

バンブガール・マサンバ小学校	50,000 円
ンガティ・ナウデ小学校	50,000 円
ンガティ・オルディ小学校	50,000 円
ユネスコクラブ聾啞学校	50,000 円
ジム・モマール・ゲイ中学校	100,000 円

2. アラサン・ゲイ君に車椅子を贈る

アラサン・ゲイ君はンジャゴ小学校の生徒で、セネガルでも稀なことだそうですが、馬に噛まれて右足を失いました。それにも負けず、熱心に勉学に励むゲイ君に、バオバブの会では、2012年と2015年の2回、松葉杖を贈ってきました。

2016年秋には中学校に進学し、さらに遠距離を通学することになったため、車椅子が欲しいという要請がありました。そこで、車椅子（200,000Fcfa、日本円で36,000円の背宛てシート付き車椅子）を贈りました。

車椅子が到着



車椅子に乗ったゲイ君を囲んで。学校の先生、ゲイ君のご家族の皆さん。



3. セネガル訪問

3月24日から25日にかけて、ジム・モマール・ゲイ中学校、サルム・ジャネ中学校、サルム・ジャネ小学校、ンジャウ・マリック小学校、サーバシ・チャム小学校、バンブガール・マサンバ小学校を訪問。また、3月30日にはサーバシ・チャムアラブ学校、そしてバンブガール・マサンバ小学校を再訪しました。各学校では、視察と、日本の代表的な学校行事である運動会紹介を行いました。

また、3月28日にはケベメールの女性グループ JIGEEN ÑU FARLU (ジゲン・ヌファルルー) を、4月1日には教育省を訪問しました。

サルム・ジャネ中学校で生徒たちを激励



身振り手振りを交え、運動会を紹介 (サーバシ・チャム小学校)

